

2/1 日南市の小学校へ雪のプレゼント

毎年恒例となっている宮崎県日南市への雪のプレゼントが今年も行われました。この事業は日南町商工会と日南市の日南商工会議所との交流事業の一環として平成元年から行われており、今年で35年目となりました。この日は、日南小学校1年生の児童たちが日南市の大堂津小学校にプレゼントするための雪を箱に詰める作業を行い、約100kgの雪が集まりました。グラウンド一面に積もった雪に児童たちも大喜びの様子で、楽しげに作業をしていました。児童たちは、「雪だるまを作ったり雪合戦をしたりして、たくさん遊んでほしい」と話していました。



2/2 隠岐の島の小学校とオンライン交流授業

日南小学校5年生の児童と、島根県隠岐の島町立中条小学校5・6年生の児童が、ZOOMでそれぞれの学校をつないで交流授業を行いました。授業ではそれぞれの学校で研究に取り組んでいる内容を発表しあい、日南小の児童は「オオサンショウウオ」をテーマに、中条小の児童は国指定重要無形民俗文化財である「隠岐国分寺蓮華会舞」と、国の天然記念物「ヤマネ」などの動物をテーマに、それぞれ発表を行いました。この日はNPO法人日本ハンザキ研究所理事長の岡田純さんが授業に招かれ、日南小の児童たちは岡田さんが見守る中、オオサンショウウオの生態や、オオサンショウウオを守るために自分たちができていることなどを発表しました。発表を見た岡田さんは、「日南町のオオサンショウウオの現状をうまくとめていた。これからは調査を続けてほしい」と児童たちに話していました。



1/24 阿毘縁特産グループが県知事表彰

地域を元気にするための優れた地域づくり活動を鳥取県が表彰する「令和新時代県民創造運動活動表彰」において、阿毘縁特産グループが一般部門の優秀賞を受賞しました。阿毘縁特産グループは、地域の特産品を使った加工品を製造・販売をすることで、自らが「稼ぐ」取り組みを行っており、その取り組みが高齢者の生きがいづくりや伝統料理の継承、地域内外との交流につながっています。この日はグループのメンバー6人が中村町長を訪問し、受賞の報告を行いました。メンバーのみなさんは、「みんなで力を合わせ、いい雰囲気活動している」「和気あいあいと、仕事を分け合っている」と話し、代表の林富貴代さんは、「最近は若い人も入ってくれた。続く限りやっていきたい」と今後の活動に向けて意欲を話しました。



1/29 文豪・井上靖氏をしのび 碑前祭

小説家で日南町名誉町民でもある井上靖氏の命日であるこの日、神福にある井上靖記念館「野分の館」で「碑前祭」が行われました。碑前祭では、日南町を舞台にした小説「通夜の客」の一節を参加者が文学碑前で朗読し、井上氏とゆかりのある「塩たて餅」をお供えて井上氏をしのびました。今年には井上氏の没後32年にあたり、碑前祭は29回目となりました。



1/14 火災・災害のない一年を願い 消防出初式

コロナ禍の影響により3年ぶりとなった日南町消防出初式が開催され、消防団員85人が参加しました。はじめに総合文化センターさつきホールで式典があり、消防団員へ表彰状が授与され、昨年発生した火災に出動し、初期消火と現場の安全管理に尽力した丸山、三栄、霞、上三栄の各自衛消防団へ感謝状が贈られました。式典後は総合文化センター前で消防車のパレードが行われ、かすみ荘周辺から日野川への一斉放水が行われました。



木山宗司団長は式典の中で、「高齢化の進んだ日南町にあつては、消防・防災の第一線に立つ消防団に対する住民の期待は大きい。町民のみなさんが安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて精一杯努める」と話しました。



1/18 「食のみやこ」特産品コンクールで 松尾農園が最優秀賞

鳥取県産の農林水産物を主原料とした特産品の中から優れた商品を表彰する、令和4年度「食のみやこ鳥取県」特産品コンクールにおいて、松尾農園の「美味椎茸ドレッシングプレミアム」が食材部門の最優秀賞を受賞しました。松尾農園の松尾馨さん・光榮さん（新屋）は受賞の報告のために中村町長を訪問し、「可能な限り農業等を使わず、安心安全にこだわってつくっている。商品を通して日南町の魅力を発信していきたい」と話しました。なお、このコンクールの同部門では、同じく松尾農園の「柚子唐辛子ドレッシングプレミアム」が、飲料部門では日南トマト加工機の「ジンジャーシロップ」が、それぞれ優良賞を受賞しています。



1/12 日南町食育推進協議会が奨励賞受賞

農林水産省では、農山漁村活性化の優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る「ディスカバー農山漁村の宝」の取り組みを行っています。中国四国農政局では、この取り組みの一環として、今後の活躍が期待できる地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」奨励賞として選定しています。この度、日南町の郷土料理を伝承する活動を行っている日南町食育推進協議会が同賞を受賞し、奨励賞授与式が役場交流ホールで行われました。七瀬寿恵会長は授与式の中で、「先人たちが伝え続けてこられたものを大切に、新しい『ふるさとの味』を紡ぎながら、これからも活動を続けていきたい」と話しました。



1/17-23 中学生が先輩に学ぶ 職業講話

日南中学校では、「日南町の未来と自分の未来について『仕事』を通して考えていくこと」を目的とした、ふるさとキャリア教育に取り組んでいます。



この授業は1年生の生徒を対象に行われ、1月17日は、役場農林課と企画課の若手職員が、行政の仕事をする上での「やりがい」や「仕事をする上で大切な力」などについて話しました。1月23日には、町内で働く5人の方が講師として招かれ、生徒たちは5つのグループに分かれてそれぞれの講師から話を聞きました。講師のみなさんは、仕事内容や仕事のよさ、大変なところなどについて話し、生徒たちはそれぞれに質問をしながら学びを深めました。

町内で農業を営んでいる松本恭平さん（丸山）は、「いろいろな価値観がある中で、自分にとって何が大切なのか自分で決めていかないといけない。今から自分で考えて決めるくせをつけていってほしい」と生徒たちにメッセージを送りました。

